



O D A

発行：社会福祉法人 沖縄県身体障害者福祉協会 / 編集：北部自立生活センター 希輝々
〒905-0015 沖縄県名護市大南4-8-32-1 / 頒価100円 (会費に含む)

TEL/FAX: 0980-54-1559 e-mail: kirara20030501@yahoo.co.jp



ほくぶ じりつせいかつせんたー きらら
北部自立生活センター 希輝々



やんばらあ〜ねっと



自立生活センター南十字星開所式

H24.12.9

しゅく じりつせいかつせんたー みなみじゅうじせいがいしょしき
祝!! 自立生活センター南十字星開所式

もくじ

やんばらあ〜ねっと 第22号



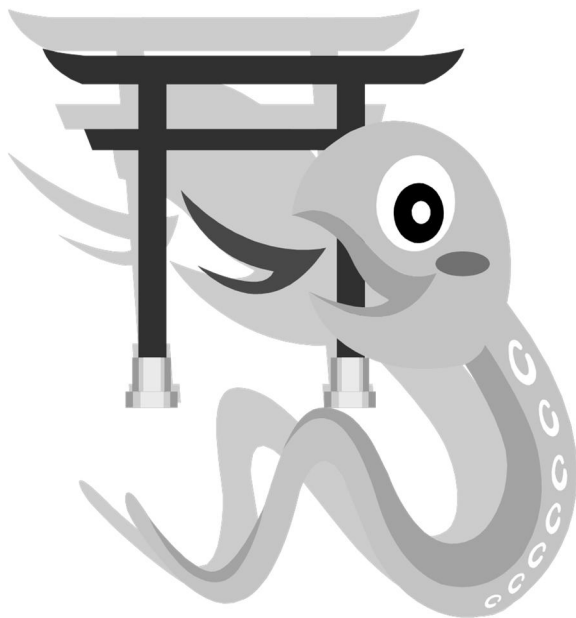
- びー P2 新年のご挨拶
- びー P3 自立生活センター南 十字星開所式 & シンポジウム
- びー P4~5 公立大学法人名桜大学 講話
- びー P6 ハンセン病学習会 & クリーンアップ & 交流会
- びー P7 沖縄県立名護高等学校 就業体験インターンシップ
- びー P8 福祉ふれあいバザー
- びー P9 ツール・ド・おきなわ2012 デュエット
- びー P10 タウンミーティング
- びー P11 ボウリング大会 / 新春！希輝々カラオケ大会開催！
- びー P12 すたっふのひとりごと / 希輝々の所在地案内 / 正会員、賛助
会員の入会および、寄付のお願い

謹んで新春のお慶びを申しあげます

旧年中は大変お世話になりました

本年もよろしくお願いたします

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます



北部自立生活センター希輝々スタッフ一同

自立生活センター南十字星開所式 & シンポジウム

去った12月9日に、沖縄県の石垣島に離島で2番目となる自立生活センター南十字星が設立されました。

来賓には、石垣市議会の議長や福祉関係機関、また、JIL加盟団体、およそ100名の方々に参加していました。これから障がい者が地域で自立生活を営めるよう取り組んでいくと思いますが、本土から本島、本島から離島への暮らしは格差が多くあるように感じます。しかし、これからは障がいを持った方が中心となり、担い手となり、地域で障がい者も健常者のように生活が普通にできるように取り組んでいけると期待をしています。南十字星スタッフ一丸となって発展していけるように心より応援しています。

午後からはシンポジウムがありました。重度の障がいを持った支援者や利用者の5人の話から、それぞれの自身の体験や、障がい者の立場から見た社会の問題点などを語ってくれました。

希輝々からは比嘉隆一さんがパネリストとして参加しました。

パネリストの方々のお話を一部抜粋して掲載させていただきます。

増本さん「大変なこともあると思うが、その一つ一つが自分たちの経験になるので、たくさんの方が集まるすてきなセンターにしたい」

比嘉さん「障がいを持ったことにより、『希輝々』の人々と出会い、自立生活センターのさまざまな人々との付き合いができるようになり、人工呼吸器を付けていても地域社会で生活できるようになって良かった」

白坂さん「障がい者に対する社会へのハードルはまだ高いが、自分ができない代わりに介助者がいろいろな情報をくれるので、すごく素直に生活ができている」

根間さん「障がい者になって引きこもっていたが、『まんた』に通うようになって何かできるんじゃないかと思い、行動に移せた」

それぞれの方が自立生活センターに関わることで生活が改善され、積極的な活動参加につながっている現状などを話してくださいました。そして、比嘉さんは最近のうれしい出来事として、「中学生たちが自分を怖がることなく、あいさつしてくれた」と話し、人と人が障がいの有無に関わらずあいさつできる社会への期待を込めていました。そして、障がい者でも、普通に自立生活ができ普通に社会参加ができる世の中になってほしいという願いを話してくださいました。



☆祝いの舞い☆



シンポジウムの様子



南十字星代表 金城太亮氏と



皆さん楽しんでますか～？

こうりつだいがくほうじんめいおうだいがく 公立大学法人名桜大学 こうわ 講話



今回、名桜大学の竹沢先生より「社会福祉概論」の中で、障がい者の生活について話していただきたいという事で依頼があり、3年生のゼミで講話をさせていただきました。

今の社会は、昔より少しは障がいを持っている人が生活しやすくなったとはいえ、インフラ整備があまり進んでおらず、障がいを持っている人が自立生活をし、完全なる社会参加ができるかという、まだまだ難しいという事、障がいを持っている人でも地域社会の中で、普通に生活できるように活動している事、生徒達が将来に向かって障がいの目線に立ってインフラ整備や配慮などの事を頭に置きながら活かしつつ、社会の一員となつて、住みよい社会の実現につなげられるようにという事を話させていただきました。

講話の後、希輝々に大学生から感想文が届けられていました。その一部を紹介させていただきます。

～感想～

新垣さんの話は、車いすですべて自立生活をしていく中での苦労な点もあったが、それより私は車いすでの生活で楽しそうに話をしていただいていた新垣さんの表情の方が印象に残っています。今、車いすですべて生活しているがとても楽しいと言っていましたし、車いすがあることによって全国どこにでも行くことができるという考えは、すごく前向きだと思つたし、私にも少しでも役に立つことはないのかということをお考えさせられました。

けー えいち
K.H.さん

今回の講演会で初めて「ピアカウンセリング」という言葉を聴きました。ピアカウンセリングでは、当事者の方々の話を聞き対等な立場に立ち、日常生活のあらゆる分野に関する情報提供、精神的サポートを行い、ノウハウを提供するという事で、当事者の方々にとても心強いサポートだと思つました。

えー えす
A.S.さん

自立して自分らしく生きることで、夢や希望を達成する機会が増やせると同時に、施設での規則や時間通りではない、人間らしい自由な生き方が得られます。自立することでたくさんの方の出会いや、支援の輪が広がっていくということです。自立をしようと決意する人、そしてそれを支援しようとする人、「ピア」な精神を持ち合わせた人が増えることで、新垣さんの描く、皆が同じように生活できる社会が実現に近づいていくのだな、と思つました。

えぬ えいち
N.H.さん

現代では、建物や道路のバリアフリー化や、スロープの設置などがされたりして、以前よりは生活しやすい環境になってきました。しかし、信号機のスイッチの位置が高かったり、歩道に車や自転車が止まったりして、不便な部分もまだまだあります。見た目や、周りからの評価にこだわりのではなく、障がい者の人たちも暮らしやすい環境づくりが大切だと思つました。

あーる えす
R.S.さん

自分にはなにができるのか、自分と同じような考えの人になにかしてあげられないだろうか
前に進もうとしたことに私は感動しました。そして、自立生活センター希輝々を設立し、地域社
会の中で生きていくのが当たり前になるよう、完全なる社会参加を目標にたくさんの人々を
サポートしているなんてすごいです。

ていー えいち
T.H.さん

北部自立生活センター希輝々での事業内容を聞いたとき、どんなに重度の障がいをもって
も地域の中で生きていけるようにということを一番にあげていて、とてもいい内容だと感じ、自
分たちは今まで何をしていたのだろうと思いました。地域で生活できる環境は誰にでも作れる
のではないかと、障がい者が直面する課題を少しでも減らしていけるのではないだろうか。新垣
さんのように、取り組み、実践していることを地域でできる社会をつくっていくことが大切だと
感じました。

えす えぬ
S.N.さん

私は今回、新垣さんのお話を聞かせていただき障障害を持つ方への考えが大きく変わりました。
その考えが大きく変わったことは、障障害を持つ方には介護をするとき、どんなことも介護をす
る側の人全て身のまわりのお世話などをするものだと思っていました。ですが、新垣さんのお
話を聞いていると「自分のことは自分で選べたい」、「社会の中でも自分の生活をしたい」など、
自立をしたいという気持ちが強く伝わってきました。

ていー えー
T.A.さん

障がいを持った人を見かけた時に何をしたら良いのか？という問いに対して「大丈夫ですか？
何か手伝いますか？」と声をかけることが一番だと聞き、実際にやろうと思いました。
以前は、やたらと声をかけるのも失礼かと思いつつも何もせずにいましたが、少しでも困っている様子
があったら自分から積極的に声をかけようと思いました。

えー けい
A.K.さん

最近では身障者専用の駐車場やいろんな場所でバリアフリーが増えてきている。しかしその
裏で心ない人が専用駐車場を利用したりなど、せっかくのものが意味をなさなくなってい
ます。また、バリアフリーや専用駐車場を作る際に当事者の介入がなく、本当に必要な
ことやものがなかったりなど、設置したものが機能しない場合もあるということ。ただ数が増え
ても意味がないのではないかと感じた。

えいち けー
H.K.さん



みぞ しんけん はなし みぞ かたお
皆さん真剣に話に耳を傾けています



あつ かた あらかし
熱く語る新垣氏



ハンセン病学習会 & クリーンアップ & 交流会



先日、チーム沖縄 (サポーター) と、当センター合わせ 25名余りで、国立療養所沖縄愛楽園に行ってきました。

そこでハンセン病に関する学習会では、納骨堂に献花を捧げ、自治会副会長の伊佐さんから、ハンセン病に関する歴史の話をお聞かせいただき、ハンセン病患者に強いられた人工中絶などにより、生まれてくる事のできなかつた子供達を供養する慰霊碑の事などを学習させていただきました。今後新しく生まれてくる命を排除される事なく健やかに育てていける様にと願いを込めて手を合わせました。

その後、クリーンアップでは、納骨堂近辺がいつまでもきれいな海辺と砂浜であってほしいと切に願いを込め、清掃活動させていただきました。

後の交流会は、オードブルを食べながら、今後の施設の将来構想の資料館や、さまざまな事などをお互いにふれ合いながら話し、交流を深めました。

この時ですが、台風17号が過ぎ去った後とあり、天気が危ぶまれていましたが、天候にも恵まれ学習ができ、良い汗をかき、皆と楽しく過ごせたので良かったです。



これまでの差別について学ぶ



ただいま清掃中...



皆でハイチーズ(*^*)
おつかれさまでした~<(^_^)>



がんばった後は楽しい交流会♪



ゴミがこんなに(>.<)!!

おきなわけんりつ な ごこうとうがっこう しゅうぎょうたいけんいんたーんしっぷ
沖縄県立名護高等学校 就業体験インターンシップ

今回、当センターで11月7日から9日までの3日間、名護高等学校から4名の一年生が就業体験を行いました。

1日目は、まず事務所で、自立生活センターについて学んでもらいました。自立生活センターは各種のサービスを障がいを持っている人が中心となり、活動や運営を行っています。当事者自身が福祉の最良の担い手となって障壁などの改善を行うという特徴や、今まで障がい者は福祉の対象者としてしか見られてこなかった事などを説明させていただきました。午後からは、当事者の自宅に生活の様子を見に行ったのですが、日頃の生活についての質問を高校生からしてもらったり、今の障がい者の暮らしはどういうものかを聞かせてもらったりしました。その中で高校生達は、当事者にとって在宅生活が一番住みやすいという事に気づいたようでした。その後、障がい者の身体、知的、精神の関係機関が集まった名護市団体協議会の中にある作業所を見学させていただいて、貝細工の作業の様子などを教えてもらい、当事者の方々と交流しました。

2日目は、屋我地島にある愛楽園に行って、ハンセン病患者に対する差別や偏見について学びました。これは、国の間違った政策の中で行われてきた事で、尊い命を偏見によって排除する事や差別が二度とあってはならないという事を伝えたくて見学に行きました。

3日目の最終日は、名護市の国際交流会館で、当事者からの支持によって料理を作る調理介助を体験してもらいました。この日のメニューはカレーライスとサンドウィッチでした。いっぱい作り過ぎてあまる程でしたが、皆で語り合いながら楽しく食べました。

この3日間、高校生の皆さんには、障がいを持っている人の自立生活についていろいろな視点から考えてもらいたいという思いから、実習や見学など様々な経験してもらいました。それぞれ将来の夢や希望があると思いますが、障がい者の視点でもの事を捉えられる社会人になって欲しいと思います。希望に向かって羽ばたいていってくださいね。応援しています。



シーアイエール CILについて勉強中...



作業所にて当事者さんと交流



ちょっと息抜き中(*^_^*)



愛楽園でハンセン病について学ぶ



調理中の真剣なまなざし



完成!!おいしそう♪

ふくし ぼざー 福祉ふれあいバザー

12月18日火曜日に名護市営市場内広場にて、「手をつなごう身近なひとと、そして心の手をたくさんの人たちと・・・」というテーマで、ふれあいバザーを、共同作業所ぬぶいでいーだと当センターで開催しました。

その日の天候は小雨がちらつき曇りでしたが、そこで商店街のおじちゃん、おばちゃん、地域の方々や、障がいを持つ仲間たちと交流をしながら、当事者が作った作品を楽しんだり、食べたり、日頃育てている花などを見ながら、楽しむことができました。

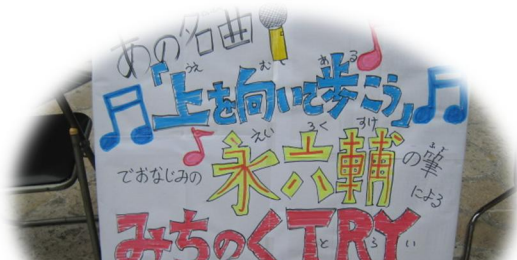
今後、障がい者の活動のネットワークが繋がっていき、障がい者でも普通に社会参加ができるようになっていければと思います、当センターも参加と手伝いをさせていただきます。

また、宜野湾から足を運んでいただいたピープルファーストの大川さんをはじめとする十数名の仲間達、参加していただきありがとうございました。今後もこのネットワークを活かし、活動を一步ずつ前進させていきましょう。これからもよろしくお願いたします。

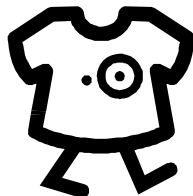
あと、昼御飯は皆でカレーライスを食べました。カレーライスを作って下さったぬぶいでいーだの皆さんありがとうございました。美味しかったです!(^^)!



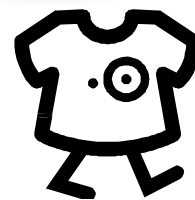
Tシャツを販売しました!!



手作りの看板 (^v^)



皆でハイチーズ(*^^)v



ちょっとサボり気味の売り子たち



バザーでのひとコマ



ツール・ド・おきなわ2012 DUET



11月25日(日)曜日、今年もここやんばるを舞台にツール・ド・おきなわバリアフリーサイクリングが開催されました。そして、今年も希望から、もうすっかりこの大会の常連となった玉城良太選手が出場しました。このころ沖縄では、長く天気の悪い日が続いていましたが、大会当日は久しぶりに太陽も出て、大変気持ちのいい、まさにサイクリング日和といった素晴らしい天候にめぐまれました。

バリアフリーサイクリングは、障がいがあっても乗ることができるDUETやハンドサイクルと呼ばれる特別な自転車を使って、名護市民会館前から崎本部塩川付近を往復する全45kmの道のりを各3~4kmずつの区間に分けて駅伝のようにタスキをつないで駆け抜ける種目です。スピードを競う競技ではないので、のんびり景色を楽しみながら皆で走ります。玉城選手が任された区間は、崎本部にあるレストラン・オン・ザ・ビーチLUEから安和の採石場までの第5区間でした。スタート直前の玉城選手は、すでに何度もこの種目に出場しているということもあり余裕の表情でしたが、今回初めてコンビを組んだヘルパーの成瀬さんは、大変緊張した様子で、無理やりつくった笑顔がひきつっておりました。

玉城選手を含む第5走者の選手たちは前走者からバトン代わりの自転車を引き継いで皆で一緒にスタート。右手に名護湾の美しい景色を見ながら気持ちのいい風をうけて大変すばらしいサイクリングを楽しみました。無事に次の中継地点にゴールすると、玉城選手も成瀬さんも大変感激した様子でした。そして次の走者に自転車を渡した玉城選手は、その後も選手たちを車で追っかけて応援し続けました。

大会終了後、名護療育園の方々が、園で料理や飲み物を準備して「ふれあいパーティー」を開いて下さり、皆でおつかれさんと言い合いながらとっても楽しい時間を過ごしました。今日のサイクリングの感想を求められ、マイクを渡された玉城選手は来年も必ず出場することを堂々と誓いました。



今年も頑張るぞー!



余裕を見せるお二人



ゴール!お疲れ様です!



カッコいいハンドサイクル



楽しいパーティタイム♪



良太選手お疲れさまでした<m()m>



「障害のある人もない人も暮らしやすい地域づくりタウンミーティング」に参加して

平成25年1月15日火曜日に沖縄県北部福祉保健所にて「障害のある人もない人も暮らしやすい地域づくりタウンミーティング」へ参加してきました。

沖縄県に障害のある人もない人もすべての人間が等しく地域社会の一員としてあらゆる分野に参加できる社会、いわゆるインクルーシブ社会の実現を目指して、条例を制定するなかで、どんなことで困っているのか、どんな誤解、偏見、差別を受けたことがあるか、等、様々な事例からどうやって現在の社会を改善していくのか、改善していくためにはどのようにしていかなければならないのかを考えることが出来ました。

現在の社会は健常者の方が主体となっている環境になっており、障害を持っている方が地域で生活をしていける環境になっているとは言えません。保健、医療、福祉サービス、教育、インフラ整備等、様々なものが不十分なのです。

ですが、社会が障害を持っている方を主体とした環境になれば健常者はもちろん、子ども、高齢者、妊婦の方等全ての人が地域で完全なる社会参加が出来、普通に誰もが平等で生活しやすい環境になるのです。

その中で一番重要なのが、私たちの中にある「医学モデル」の考え方から「社会モデル」へ意識を変えていくことです。その意識が変わっていかない限り、私たちの生活している環境が全ての人に優しく、平等な住み良いものにはなりません。

あげられた事例の中で気になったのが、自動車の駐車場に関することでした。

デパートやスーパー等では障害者の方、主に車椅子を利用している方が乗り降りの際に有効に利用できるように駐車スペースの幅が広く設定されています。

これは、車椅子を利用している方は車からの乗り降りの際に車のドアを充分に開かないと乗り降りが出来ないからなのです。だから駐車スペースが幅広く設定されているのです。そのことを理解していないで何気なく健常者の方が駐車してしまうと障害者の方はどこに車を駐車すればよいのでしょうか。駐車が出来たとしても、乗り降りをする事が出来ません。その場面を見かけるとすごく残念に感じています。

このことから、私たち県民の全体の意識はまだまだ変化していく必要性を感じます。また、声をあげて広めていきたいです。

これから県議会に上げていきたいと思います。県内5地域（中部、北部、南部、宮古及び八重山の各地）にてタウンミーティングを実施していく中で、タウンミーティングで声が上がった件を含め、障害者が地域の中で普通に生活を営めるように、骨抜きのないように県議会で話し合われ議論していってもらい、制定して頂けたらと考えています。



なごしんたいしょうがいしゃふくしきょうぎかいしゅさい ぼうりんぐたいかい 名護市身体障害者福祉協議会主催 ボウリング大会

1月20日(日)曜日、名護市内の名桜ボウルにて名護市身体障害者福祉協議会主催による恒例のボウリング大会が開催されました。このイベントは市内に暮らす障がいのある人達と地域の人たちとの交流を目的として、毎年この季節に行われているものです。

希輝々からは今年も新垣さんが参加して、大健闘しました。身体の部において度々優勝経験のある新垣さんですが、残念ながら今年も惜しくも優勝を逃してしまいました。しかし、すっかり顔なじみとなった地域の方々や当事者の仲間達、そして新たな参加者の皆さんとも大いに交流し親交を深めました。

試合後の表彰式では各障がい別の優勝者発表と賞品の授与が行われ、また惜しくも賞を逃した参加者全員の中からじ引きによるお楽しみ賞もありました。

毎年楽しいイベントを開いてくれてありがとうございます。来年も呼んで下さいね～。



さあ優勝は誰の手に!?



みんなでハイチーズ(*^*)v



だい かい わらい しんしゅん きららからおけたいかいさい 第362回(笑)!新春 希輝々カラオケ大会開催!!



新年あけましておめでとうございます。

おかげさまで、希輝々は今年も無事に新年をむかえることができました。これもひとえにいつも支えて下さる地域の皆様、応援下さる関係機関の方々のおかげです。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて希輝々では、新年を祝い盛大にカラオケ大会を開催しました。会場となったカラオケハウスとまとは、大変豪華な顔ぶれの歌手の皆さんが勢ぞろいしました。希輝々の名にちなんでkiroroを唄う人やケロロ軍曹を唄う人、汗だくになって佐野元春のSOMEDAYを唄いきった人、福山雅治のそっくりさん(声の)、AKB 48を熱唱するおじさん、ブルーハーツで踊り狂う人等々、NHK紅白歌合戦よりゴージャスな顔ぶれでした。そしてカラオケを唄いきった後、今年もがんばるぞー!と皆で誓い合いました。

希輝々は今年も障がいのある人もない人も共に暮らせる地域社会をめざして一生懸命がんばります!どうぞよろしく!



出場歌手のみなさま



代表のご挨拶



カンパイ!今年もがんばろー!

へんしゅうこうき 編集後記：すたっふのひとりごと

なる せ ひでゆき
 成瀬 秀行(40)



ここ名護市では全国に先駆けてすでに桜が咲いており、桜まつりも開催されて大変にぎやかです。桜が散ってまた咲いて・・・年の経つのは早いですね。ここ数年に感じる年月の経過のスピードはまるでターボが掛ったような加速の仕方をしているようです。速くてうれしいです。さて、2013年は自分にとって生誕40周年を迎えての特別な一年です。記念すべきアニバーサリーイヤーをますます特別なものにするために、今年は自分限定のさまざまなお祭りを企画・開催していきたいです。ちいさなお祭りとしてはまず「ニンテンドー3DS」とびだせどうぶつのもりにおける唯一無二の独特な村づくりに向けてのさまざまな取り組みです。あるいは、カラオケで佐野元春のSOMEDAYをつかえないで最後まで唄いきるための研究と訓練です。次に大きなお祭りとしてはやはりなんといっても自立生活センターの仕事をつんぼることで。見ていて下さい！今年は去年よりもますますふんぼります！ふんぼるぞぁー！

ほくぶじりつせいかつせんたー きらら 北部自立生活センター 希輝々の 所在地案内

〒905-0015
 おきなわけん な ごし おおみなみ
 沖縄県名護市大南 4-8-32-1
 てる ふあつくす
 TEL/FAX 0980-54-1559
 いーめーる
 e-mail : kirara20030501@yahoo.co.jp



せいかいいん さんじょかいいん にゆうかい きふ ねが 正会員、賛助会員の入会および、寄付のお願い



しーあいえる きらら せいかいいんおよ さんじょかいいん せつきよくてき さんか つの
 CIL希輝々では、正会員及び賛助会員の積極的な参加を募っています。
 どうかいかつどう こうどうはんい ひろ どうかい しゅし さんどう
 当会活動のさらなる行動範囲を広げるためにも、ぜひとも当会の主旨にご賛同いた
 きょうりよく ねが
 き、ご協力をお願いいたします。
 かいひ せいかいいんねんかん えん さんじょかいいん ねんかんひとくち えん
 会費は、正会員年間5,000円、賛助会員は年間一口5,000円です。
 きふきん すいじょう つ みなさま あたた こごし きょうりよく ねが
 寄付金は随時受け付けています。皆様の温かいお志とご協力をお願いいたしま
 す。

- 振り込み先 郵便口座 17080-8-347321
- 名義 北部自立生活センター 希輝々